

採択拠点の拠点形成概要・採択理由

【分野名：革新的な学術分野】

機 関 名	東京大学
拠点のプログラム名称	言語から読み解くゲノムと生命システム (次世代バイオインフォマティクス拠点の創成)
中核となる専攻等名	新領域創成科学研究科情報生命科学専攻
事業推進担当者	(リーダー) 高木利久 教授 外11名
<p>(拠点形成概要)</p> <p>生命という多様で複雑なシステムを解明するには、情報技術を駆使して膨大なデータを解析するバイオインフォマティクス(BI)研究が欠かせない。その中でも、ゲノムや生命システムを規定する生命言語、生命システムの記述やシミュレーションのための計算機言語、生命学者が知識を記載するための人間言語、などの生命解明にかかわるさまざまな言語とそれらの間の関係を解き明かすことを目指したBI研究が、これからの生命科学には不可欠である。本研究教育拠点では、言語という、世界的に見ても新しくかつユニークな視点からのBI教育研究を情報系生命系一体となって総合的に展開する。最先端のBI研究とゲノム研究とが同じ研究科の中で同時進行している場で、多様な背景をもつ研究者が緊密に連携した集団を形成し、次世代の研究と教育とを並行して展開することにより、世界に向けて革新的なアイデアや技術を発信できる能力を備えた研究者の育成を図る。</p>	
<p>(採択理由)</p> <p><コメント></p> <p>新しいタイプのバイオインフォマティストという学界からの要請の高い分野の研究者養成を軸として、国際的にも評価の高い研究実績を基盤に先端分野の開拓を強力に推進しようという拠点形成計画である。情報科学とゲノム科学の融合分野は、生命科学の今後の展開の鍵の一つともなる分野であり、拠点形成には各分野から期待がかかる。</p>	
<p><革新的な学術分野であるポイント></p> <p>「言語から読み解く」という視点でゲノム言語、計算機言語、自然言語に注目しながら、情報科学と生命科学の融合による革新的な学術分野の開拓を目指しており、新分野開拓が期待できる拠点形成計画である。</p>	